

2023年12月20日

## 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の 構成銘柄に2年連続で選定

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長 CEO:菊田 徹也、以下「当社」)は、世界の代表的な ESG 株価指数である「Dow Jones Sustainability Indices(以下 DJSI)」の、アジア・太平洋地域の企業で構成される「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄に2年連続で選定されました。

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

### 1. DJSI の概要

DJSI は S&P Dow Jones Indices 社が提供する ESG 株価指数で、2023 年は約 3,500 社が評価対象となり、環境・社会・ガバナンスの3つの側面から企業を評価し、サステナビリティに関する取組みが優れた企業が構成銘柄として選定されます。「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」は、DJSI の中でもアジア・太平洋地域の主要企業約 600 社を対象とした指数で、うち 156 社が Index に採用、そのうち日本企業は 75 社となっています。当社が分類される保険(Insurance)セクターでは、日本から当社を含め4社が選定されています。

### 2. 第一生命グループのサステナビリティに関する取組みについて

当社グループでは、私たちの目指す姿である「Protect and improve the well-being of all(すべての人々の幸せを守り、高める)」の実現に向けて、将来世代を含むすべての人々の幸せと、その大前提となる、100 年後を見据えた持続的社会的の実現を目指し、気候変動への対応のほか、あらゆる人々の人権や多様性の尊重といった地域・社会の持続性確保に関する重要なサステナビリティ課題の解決に向けて取り組んでいます。持続的社会的の実現に向けた取組みを力強く推進するために、2023 年度より Chief Sustainability Officer (CSuO) を設置<sup>1</sup>し、CSuO を議長とする「グループサステナビリティ推進委員会」を中心とした推進体制を構築する等、サステナビリティガバナンスの高度化を図っています。また「ネットゼロ移行計画」の策定や、GFANZ 日本支部の設立<sup>2</sup>への貢献など、サステナビリティに関する取組みを強力に推進しています。

<sup>1</sup> [https://www.dai-ichi-life-hd.com/newsroom/newsrelease/2022/pdf/index\\_037.pdf](https://www.dai-ichi-life-hd.com/newsroom/newsrelease/2022/pdf/index_037.pdf)

<sup>2</sup> GFANZ: Glasgow Financial Alliance for Net Zero の略。排出量ネットゼロを掲げる金融機関を包括するグローバル・イニシアティブ。2023 年6月から始動した世界初の国別支部である日本支部の「コンサルテティブグループ」(金融機関や政府機関の代表などで構成される助言機関)の初代議長に当社取締役会長の稲垣が就任。

- 当社統合報告書 2023: [https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/annual\\_report/index.html](https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/annual_report/index.html)
- ネットゼロ移行計画: <https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/environment/nztransitionplan.html>
- 当社ホームページ: <https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/index.html>